

第2回寝屋川市放課後子ども総合プラン運営委員会議事録

1 日時 令和5年12月4日（月） 午前10時30分から

2 場所 議会棟5階 第二委員会室

3 出席状況

(1) 出席委員 （12名）

杉本委員長、枡井副委員長、植木委員、龍田委員、森委員、清水委員、
土保委員、栗原委員、大寺委員、永幡委員、山本委員、村上委員

(2) 欠席委員 （3名）

甲斐委員、畠中委員、谷口委員

(3) 事務局 （5名）

岡元課長、大橋係長、徳留、高岡、押切

4 次第

(1) 寝屋川市放課後子ども総合プラン運営委員会報告書（案）について

(2) その他

事務局：寝屋川市放課後子ども総合プラン運営委員会報告書（案）の説明。

各委員：

- ・報告書（案）の内容確認を行い、表記などについて修正及び確定。
（報告書の確定版を別途添付）

○委員の任期があることから、次の委員へのメッセージや課題、あるいは今までの感想等を求めた。

- ・今年からPTAに参画し、放課後子供教室にも参画いただいている方からは、どのようにプログラムを進めていけばいいのか悩まれるという意見をいただく。
子どもの企画や意見を取り入れながら考えていける仕組みづくりと一緒にサポートしながらつくっていきたい。

- ・運営委員会だけの情報共有は限界がある。今の時代、ライングループのように日常的に情報交換をするようなプラットフォームのようなものがあるといいのではないか。
- ・この会議に参加している別の校区の放課後子供教室の実施内容を聞き、他校区事例の逃走中や寺子屋のようなものを取り入れてみようと思えた。放課後子供教室同士のプラットフォームみたいなものもあればいいのではないかな。
- ・何かを作りこんでいくのではなく、卒業生で高校生や大学生など、色々な人を巻き込んでいくことを大事にしている。子どもをお客さんとせず、子どもも大人もみんなが駄目なところもあっていいという放課後子供教室を目指してやっていきたい。
- ・子どもに任せて待つということ。子どもに指示を出す方が手っ取り早いけど、待つことで、子どもを信頼し力を引き出すこととなる。
- ・この運営委員会が終わって帰るとき、すごく満たされた気持ちになる。こんなに子どもたちのことを一生懸命考えている方がいるから。大人の一生懸命は子どもにも伝わる。子ども自身が見て育つ、感じて育つことが大事。
- ・子どもが主体的に意見できる場、この運営委員会の委員に子ども2人を任命して会議ができれば、全国に誇れる運営委員会になるのではないかな。